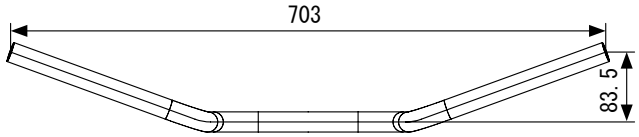
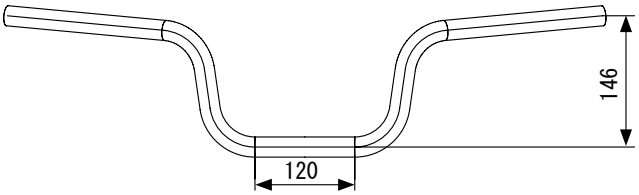
アルミステアリングハンドル　取扱説明書

製品番号	06-01-2511（マットシルバー） 06-01-2512（マットブラック） 06-01-2513（マットブルー） 06-01-2514（マットゴールド）

適応車種	GROM	(JC61-1000001 ～ 1299999) (JC61-1300001 ～) (JC75-1000001 ～) (JC92-1000001 ～)
	MSX125	
	MSX125SF	
	MSX GROM	(MLHJC92)
	モンキー 125	(JB02-1000001 ～) (JB03-1000001 ～) (JB05-1000001 ～)
	モンキー 125 タイモデル	(MLHJB02)(MLHJB03)
	ダックス 125	(JB04-1000001 ～) (JB06-1000001 ～)



※ハンドルパイプ径 22.2mm（参考内径 14mm）
※ハンドルバーエンドは汎用品、参考内径 14mm が使用可能なタイプをご使用下さい。



注意
※他社製品のバーエンドで内径 14mm 対応と記載があったとしても、必ずしも取り付け可能とも限りません。
ハンドル内径 14mm ですがパイプは多少個体差があり、14mm より小さい場合がございます。
※ハンドルバーエンドは SP 武川製のバーエンドを推奨します。

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。
このステアリングハンドルは、ノーマルハンドルより高さ･絞り角度等を調整し違和感の無い形状としており、軽量アルミ合金を使用し、マットフィニッシュのカラーアルマイト処理をしております。
又、各ハウジング位置決めの穴加工済みですので、ボルトオンで取り付け出来る適応車種専用のステアリングハンドルバーです。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合があります。予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎アルマイト製品は経年変化により、色褪せ等発生する場合があります。予めご了承下さい。
◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
◎製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
◎製品には、エッジや突起がある場合があります。必ず作業手袋を着用し作業を行って下さい。
（説明書内で作業手袋未着用の写真がある場合でも、作業時は作業手袋等を着用して下さい。）
◎純正のハンドルウエイトは取り付け出来ません。ご了承下さい。
◎別売のアルミステアリングハンドル対応のハンドルバーエンドが必要となります。別途お買い求め下さい。
詳しくは、弊社パーツカタログ又は WEB カタログをご参照下さい。
http://www.takegawa.co.jp

⚠ 注意　この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

■作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行って下さい。（火傷の原因となります。）
■作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
■ハンドルバー両端部には、エッジ及びカエリ等がある場合があります。作業時は、作業手袋等を着用し手を保護して作業を行って下さい。（ケガの原因となります。）
■走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。（部品の脱落の原因となります。）

⚠ 警告　この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

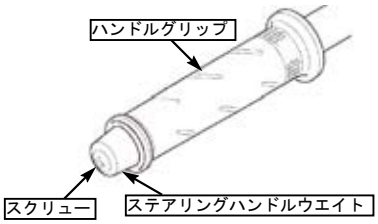
■走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
■転倒などをした場合、必ず各部を点検しクラック等の異常が有る場合はそのまま使用せず、部品交換を行って下さい。
■作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
■点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
■点検、整備等を行った際、損傷部品が見つかれば、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。（事故につながる恐れがあります。）

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後１ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。なお、レース等ご使用の場合は、いかなる場合もクレームは一切お受け出来ません。予めご了承下さい。
◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

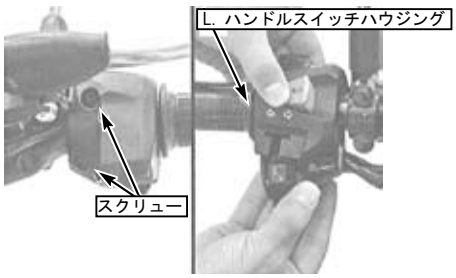
株式会社 スペシャルパーツ 武川
〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL http://www.takegawa.co.jp

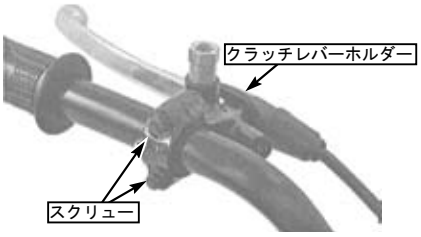
■取り付け要領　※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

○L/R ハンドルウエイト部のスクリューを外し、ハンドルウエイトを取り外します。

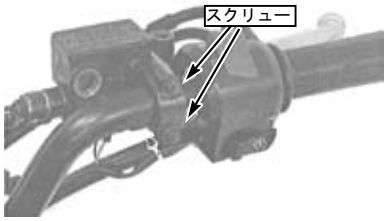


○バックミラー / ワイヤーバンドを外し、L. ハンドルバースイッチ及びクラッチレバーホルダーのスクリューを外し、ハンドルバーからスイッチ及びクラッチレバーホルダーを取り外します。

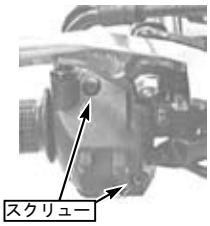




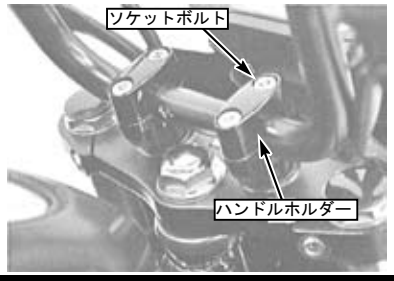
○フロントマスターシリンダーホルダーのスクリューを外し、フロントマスターシリンダーホルダーを取り外します。



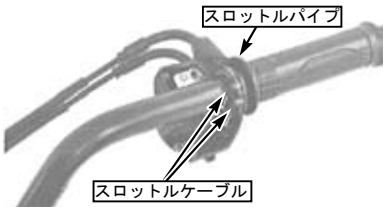
○R. ハンドルバースイッチのスクリュー 2 本を取り外します。



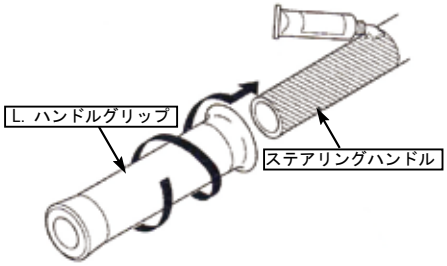
○ハンドルホルダーのソケットボルトを外し、ハンドルバーを取り外します。



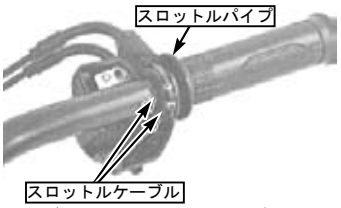
○ハンドルバーからスロットルケーブルの接続を外し、スロットルパイプを取り外します。



○キットのステアリングハンドルの L. グリップ部接着面にセメダイン #540 を薄く塗布し、使用するグリップを回しながら取り付けます。

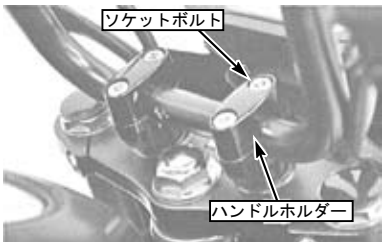


○キットのステアリングハンドルのスロットルパイプ摺動部に薄くグリースを塗布し、ステアリングハンドルに取り外しと逆手順でスロットルパイプを取り付けスロットルケーブルを接続します。



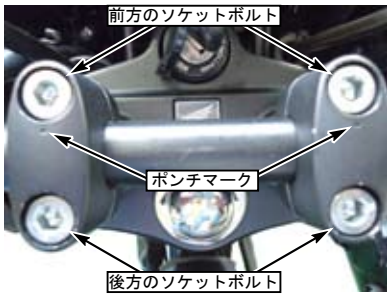
○ステアリングハンドルをロワホルダーに取り付け、アッパーホルダーのポンチマークを前方に合せ取り付けます。

※アッパーホルダー及びロアホルダー部とステアリングパイプと接触部をパーツクリーナー等で拭き取ります。ゴミ等がある場合はハンドルがしっかり固定されない原因に繋がります。



○ステアリングハンドルの位置を調整し、ハンドルホルダーの前方のソケットボルトを規定トルクで締め付けた後、後方のソケットボルトを規定トルクで締め付けます。

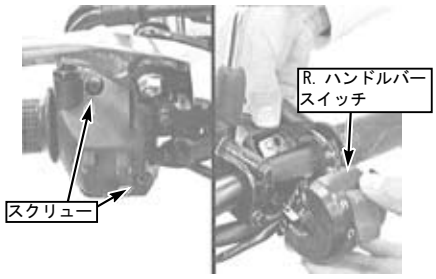
⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ソケットボルト
トルク：27 ～ 30N・m（2.75 ～ 3.06kgf・m）



○フロントマスターシリンダーホルダーを取り付けます。

○スロットルケーブルの接続部に少量のグリースを塗布し、R. ハンドルバースイッチ位置決めピンをステアリングハンドルの穴位置に合せスクリュー 2 本を取り付け締め付けます。

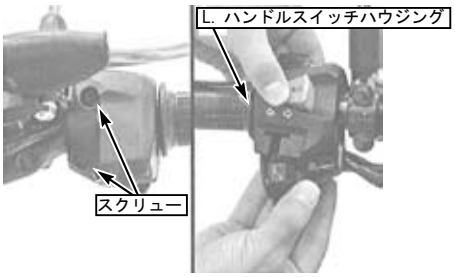
⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
スクリュー
トルク：2.5N・m（0.26kgf・m）



○クラッチレバーホルダーを取り付けます。

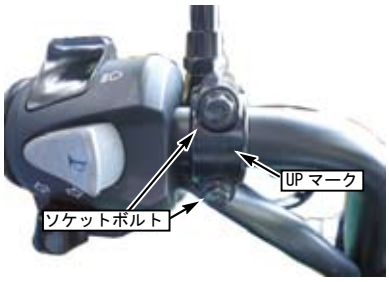
○L. ハンドルバースイッチ位置決めピンをステアリングハンドルの穴位置に合せスクリュー 2 本を取り付け締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
スクリュー
トルク：2.5N・m（0.26kgf・m）



○フロントブレーキレバー及びクラッチレバーの位置を調整し、各ホルダーの上側のボルトを規定トルクで締め付けた後、下側のボルトを規定トルクで締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：10N・m（1.0kgf・m）



○バックミラー / ワイヤーバンドを取り付けます。

○別売のハンドルバーエンドを取り付けます。

◎この取扱説明書は弊社ホームページに PDF データーでアップしております。
印刷では表記が読みにくい等ございましたら弊社ホームページにてダウンロードしご確認下さい。

SPECIAL PARTS TAKEGAWA